

総務常任委員会資料

令和6年9月10日

(2024年)

企画管理部政策企画課

(仮称)第3次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」
骨子等について

標記の件について、次のとおり報告します。

1. (仮称)第3次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」
骨子案【資料1】

2. 城陽市の人口動向と将来人口推計【資料2】

（仮称）第3次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」 骨子案

1 策定にあたって

- 1-1 策定の趣旨と背景 （国デジタル田園都市国家構想総合戦略の動向など）
- 1-2 計画期間
- 1-3 推進体制

2 城陽市人口ビジョン

- 2-1 人口ビジョンについて
- 2-2 人口動向 （データ更新）
- 2-3 将来人口推計 （人口の将来展望の見直し）

3 城陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

3-1 第3次総合戦略の策定に向けて

- 第2次総合戦略の取組実績
- 市民アンケートの結果概要
- 有識者会議意見など
- 第3次総合戦略に向けた課題整理

3-2 第3次総合戦略基本方針

（第2次戦略の柱立て「医・職・住・遊・学」を継続）

3-3 基本目標

（各基本目標について基本的方向と数値目標、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の検討）

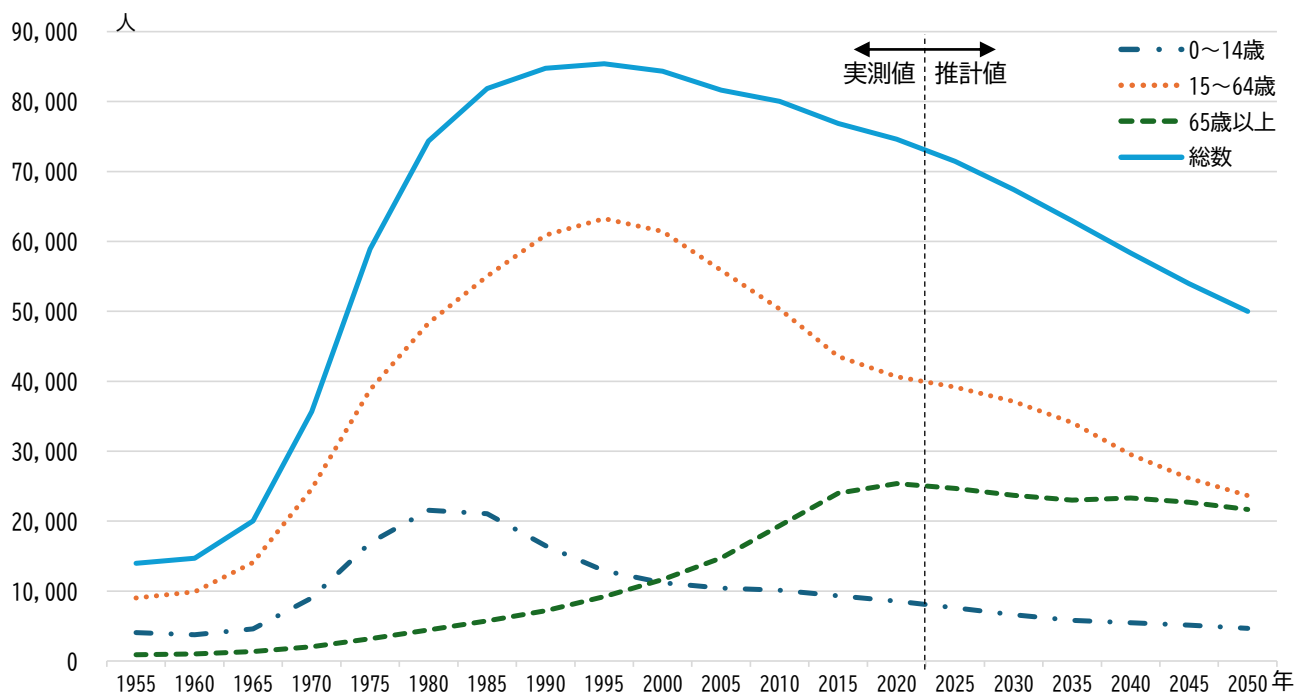
- 基本目標1 健康と医療福祉のまち
- 基本目標2 魅力ある職に出会うまち
- 基本目標3 ゆったり住めるまち
- 基本目標4 とことん遊べるまち
- 基本目標5 たくさん学べるまち

城陽市の人口動向と将来人口推計

1. 人口動向

(1) 総人口及び年齢3区分別人口の推移

総人口・年齢3区分別人口の推移と将来推計



西暦(年)	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
0～14歳(人)	4,057	3,777	4,596	9,007	16,906	21,557	21,057	16,475	12,893	11,193	10,432	10,113	9,311	8,577	7,624	6,624	5,815	5,479	5,131	4,685
15～64歳(人)	9,010	9,892	14,080	24,598	38,782	48,299	55,043	60,911	63,276	61,446	55,857	50,350	43,543	40,672	39,166	37,110	34,097	29,527	26,118	23,656
65歳以上(人)	910	1,021	1,362	2,053	3,170	4,445	5,724	7,173	9,209	11,656	14,722	19,352	24,015	25,358	24,679	23,679	23,023	23,323	22,710	21,670
総数(人)	13,977	14,690	20,038	35,658	58,923	74,350	81,850	84,770	85,398	84,346	81,636	80,037	76,869	74,607	71,469	67,413	62,935	58,329	53,959	50,011
高齢化率(%)	6.5	7.0	6.8	5.8	5.4	6.0	7.0	8.5	10.8	13.8	18.0	24.2	31.2	34.0	34.5	35.1	36.6	40.0	42.1	43.3

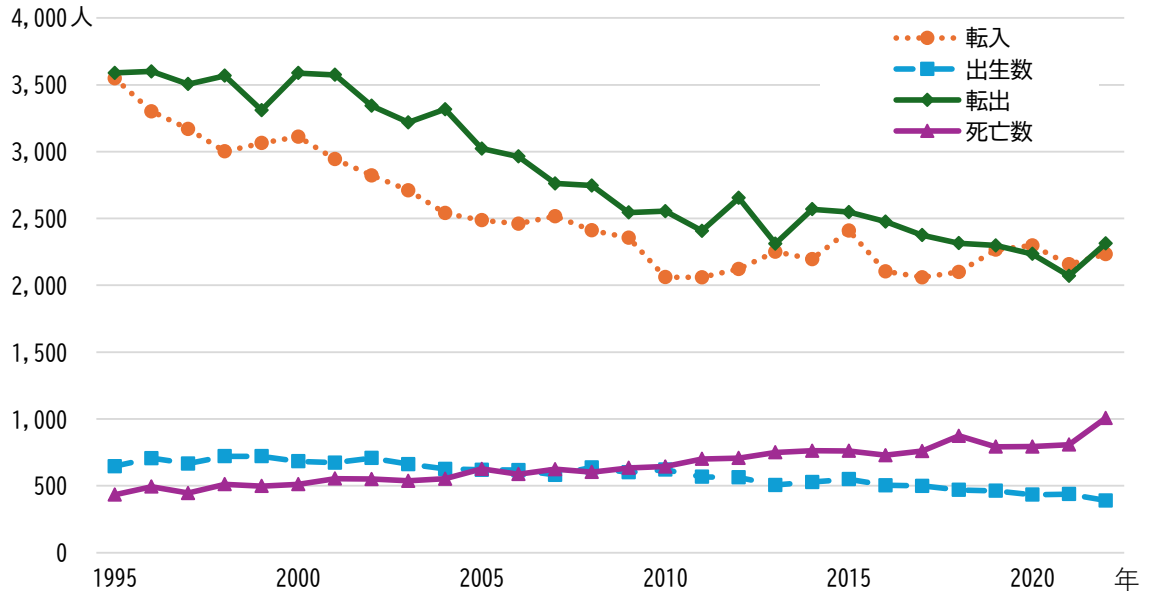
【出典】 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】 2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所のデータ(令和5年12月公表)に基づく推計値。
総人口は年齢不詳を含むため、年齢3階層の合計と一致しない場合がある。

(2) 人口動態

①自然動態と社会動態

人口動態の推移

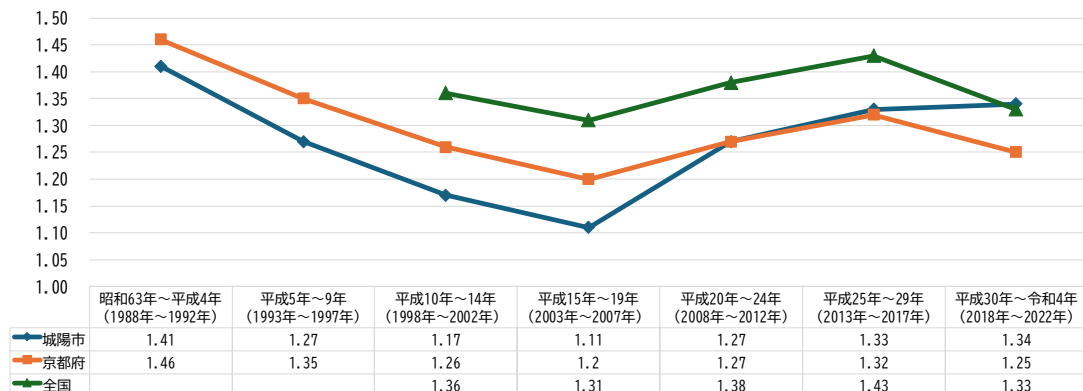


【出典】 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」を再編加工

【注記】 2012 年までは年度データ、2013 年以降は年次データ。2011 年までは日本人のみ、2012 年以降は外国人を含む数字。

②合計特殊出生率の推移

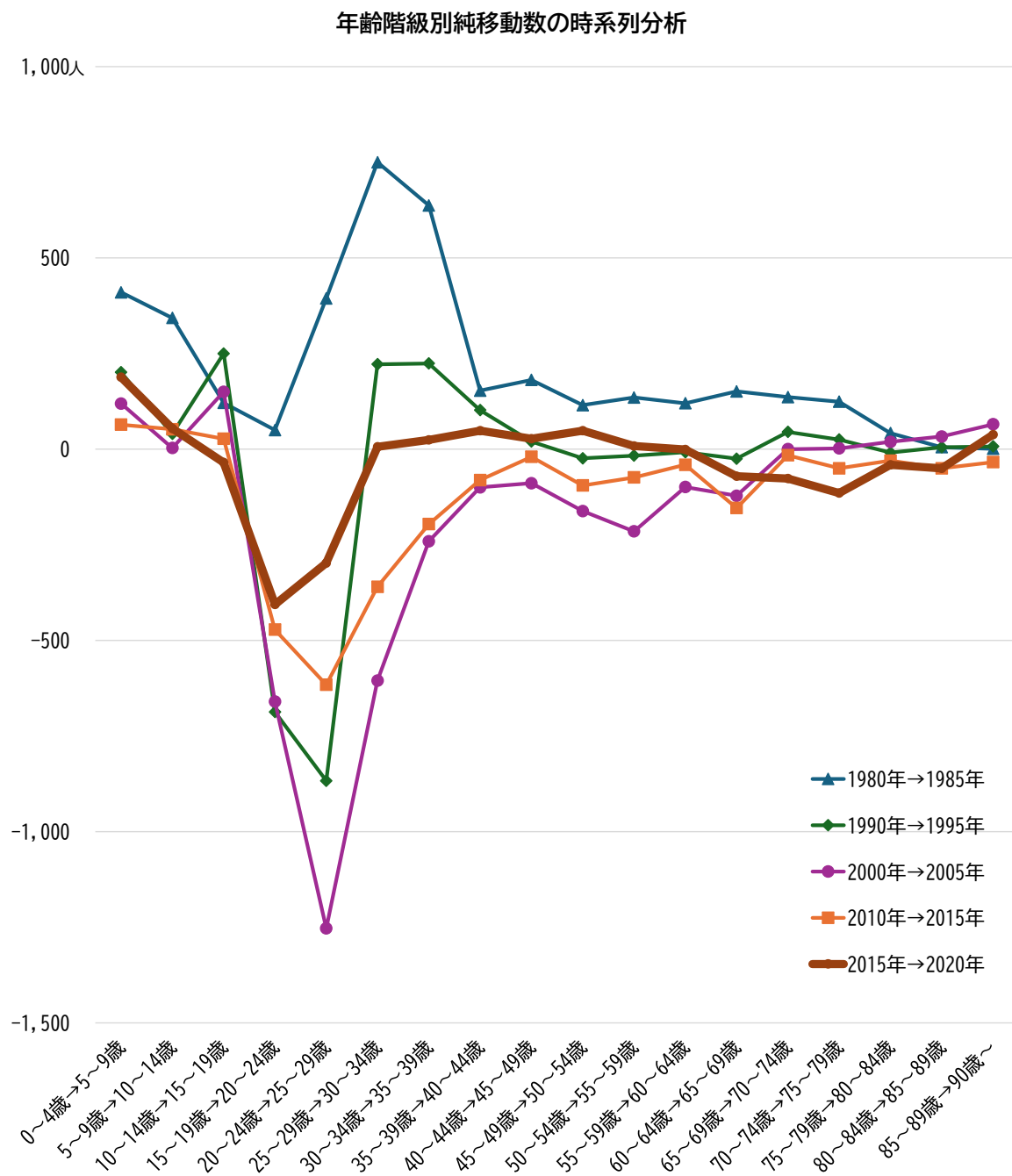
合計特殊出生率の推移（バイズ推定値）



【出典】 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

(3) 人口移動の状況

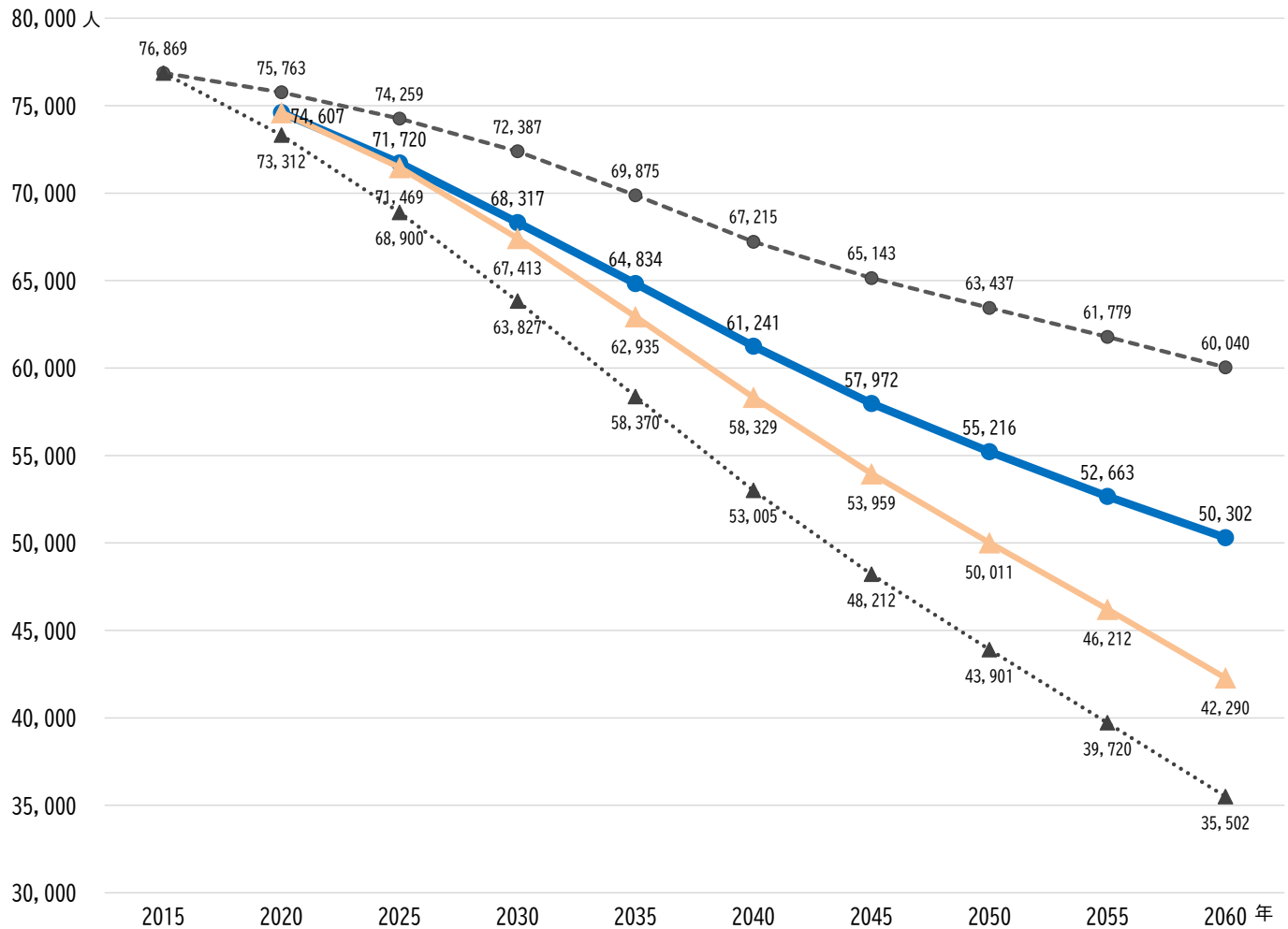
①年齢階級別人口移動の状況



【出典】 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

2. 将来人口推計

(1) 人口推計のシミュレーション



- 人口戦略会議準拠 (2060 年合計特殊出生率 2.07、2040 年社会移動均衡、2050 年以降市定常化移動率加味)
- 現行の人口ビジョンシミュレーション2 (2030 年合計特殊出生率 2.1+2020 年社会移動均衡：移動 0)
- ▲— 社人研(2023 年)推計準拠
- ...▲... 社人研(2018 年)推計準拠

城陽市の社人研 2018 年推計と 2023 年推計の人口減少改善要因分析（国勢調査から）

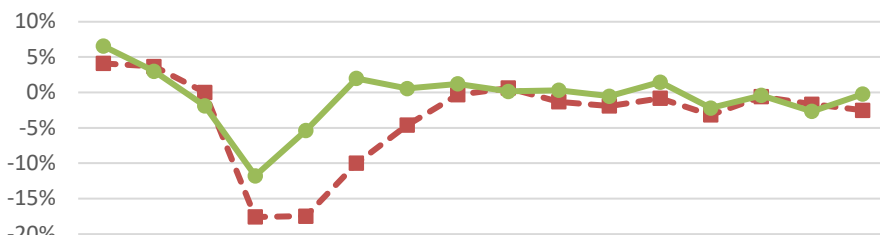
城陽市の近年の
国勢調査の比較からは

社会移動は改善

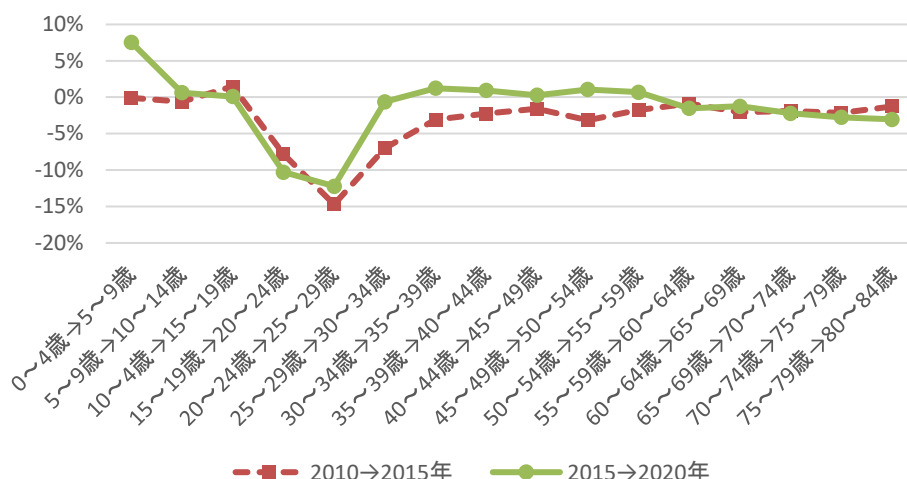
15 歳から 49 歳の男女
ともに変化率※に改善が
みられる。

※5 年後の年齢階級人口に生存率を考慮

男性5歳階級別変化率(国勢調査・生存率加味)



女性5歳階級別変化率(国勢調査・生存率加味)



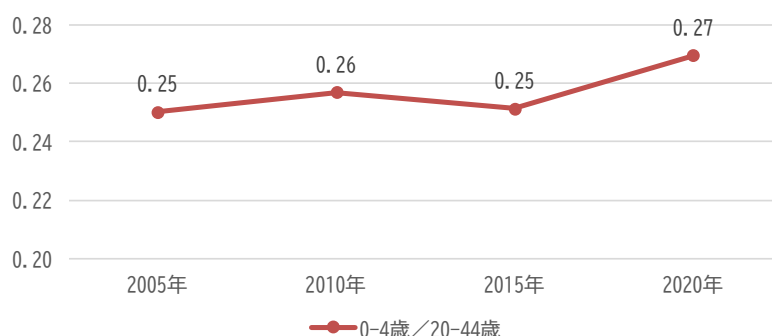
社人研の将来人口推計の移動の仮定値の考え方

2018 年推計 移動の仮定	●転出率は、2010 年～2015 年の転出率を推計期間中一定とした。 ●転入率は、全国の配分率は、2010 年→2015 年をベースに、推計期間中の対象地の人口規模の変化や転入元となる他地域の人口分布の変化を考慮して仮定値を設定した。
2023 年推計 移動の仮定	●転出率は、2005 年～2020 年の 5 年毎 3 期間の地域別の平均的な移動傾向が 2045 年→2050 年まで一定と仮定。 ●転入率は、配分率は先の 3 期間の平均的な値をベースに、推計期間中の対象地の人口規模の変化や転入元となる他地域の人口分布の変化を考慮して仮定値を設定した。

出生は改善

子ども女性比の算出対象別で
推移を比較すると、
2023 年推計で採用された
0-4 歳／20-44 歳で算出される値は
改善している。

子ども女性比の推移（国勢調査）

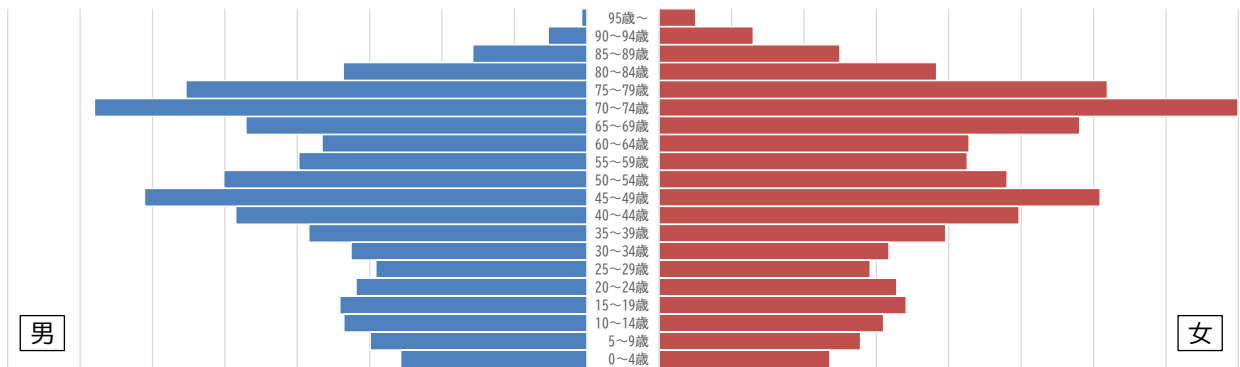


社人研の将来人口推計の出生の仮定値の考え方

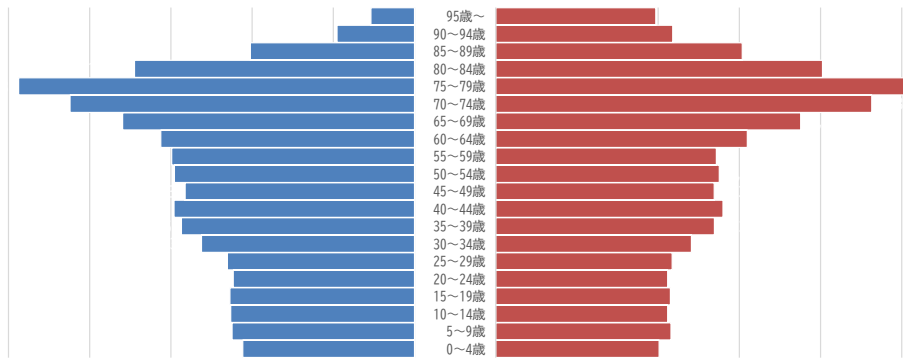
2018 年推計 出生の仮定	●2015 年の全国の子ども女性比（0-4 歳人口の 15-49 歳女性人口に対する比）と各市町村の子ども女性比をとり、その比が 2020 年以降 2045 年まで一定として市町村ごとに仮定。
2023 年推計 出生の仮定	●0-4 歳人口の 20-44 歳女性人口に対する比と定義し、2005 年、2010 年、2015 年、2020 年の 4 時点における市区町村別の子ども女性比の全国の子ども女性比に対する相対的較差（比）の趨勢が 2025 年まで続くとして仮定して、直線的に延長して 2025 年の市区町村別の較差を設定し、その後 2025 年～2050 年までは一定と仮定した。

城陽市の定常化人口までの人口ピラミッドの比較

2020 年国勢調査実績（高齢化率約 34%）



2050 年推計人口（高齢化率約 38%）



2100 年推計人口（高齢化率約 27%）

